

テーマ	子どものことばとコミュニケーション		
講習内容	子どものコミュニケーションはいかに発達していくのだろうか。本講習では、子どものコミュニケーションの発達に関する理論を解説する。また、幼稚園・学校場面において、ことばやコミュニケーションに困難を感じている子ども（ことばの遅れ、発達障がい、緘黙等）に対する支援のあり方について検討する。		
科目区分	選択領域	対 象	全教諭、養護教諭、栄養教諭
担 当	鈴木 みゆき(本学 法学部 准教授)	キャンパス	金沢八景キャンパス
講習期間	2019年8月7日(水)	講習時間	6時間
授業形態	対面授業	試験方法	筆記試験

時間割	講時	時間	内容
	オリエンテーション	8:55   9:00	・講習中の諸注意、大学各施設についてや当日の流れ等をご説明します
	1 講時	9:00   10:30	<b>子どものことばとコミュニケーションの発達</b> 子どものことばとコミュニケーションはどのように発達していくだろうか。ここでは、言語獲得期にある子どもの発達について解説するとともに、子どものことばとコミュニケーションの発達を支える要因とその支援の方法について考える。
	2 講時	10:45   12:15	<b>言語・コミュニケーションに困難のある子どもの理解と支援</b> 言語・コミュニケーションに困難を感じている子どもの理解と支援のために、幼稚園・学校ではどのようなことができるのだろうか。ここでは、話しことばの遅れがある子どもと自閉症スペクトラムの子どもを中心に、その理解と支援の方法について考える。
	3 講時	13:15   14:45	<b>吃音のある子どもの理解と支援</b> 吃音のある子どもの理解と支援のために、幼稚園・学校ではどのようなことができるのだろうか。ここでは、吃音のメカニズムについて解説するとともに、発話症状および発話症状以外の部分における支援の方法について考える。
	4 講時	15:00   16:30	<b>場面緘黙のある子どもの理解と支援</b> 場面緘黙のある子どもの理解と支援のために、幼稚園・学校ではどのようなことができるのだろうか。ここでは場面緘黙のメカニズムについて解説するとともに、場面緘黙のある子どもへのケース検討を通して支援の方法について考える。
	伝達事項	16:30   16:40	・今後の修了書送付までの流れ等をご説明します ・事後アンケート →ご提出いただいた方から講習終了となります
	備考	※4講時内に筆記試験を実施します。	